

志野医師からのひと言：肥満と食道

胃食道逆流症（英語の頭文字を略して GERD：ガードと呼ばれる）という病気があります。酸の強い胃液が逆流すると食道炎を引き起こし、胸やけの原因になったり、治りにくいせきの原因になったりします。

胃食道逆流症は肥満と関連があります。肥満には皮下脂肪型と内臓脂肪型がありますが、特に内臓脂肪の多いタイプと関連が強いようです。体重自体の増加もさることながらウェスト周囲径の増加の方が問題とされています。

内臓脂肪により胃内圧が上がり、食道下部の筋肉が緩んだり、胃と食道との内圧差で胃液が逆流しやすくなったりします。結果的に食道裂孔ヘルニアも合併しやすくなりさらに胃液の逆流が起きやすくなります。

また胃食道逆流症は食道癌（日本で少しずつ増えている食道腺癌）との関連もあるようです。

酸っぱい液が上がってくる方で肥満の方は特に生活習慣を見直しましょう。

（栄養に関してのお問い合わせは、栄養科または外科外来にご連絡ください。）

